

ALPS処理水の取扱いに関する 宮城県産品の需要創出・今後の理解醸成の取組



1. 宮城県産品の魅力発信、消費拡大を通じた需要創出の取組
2. 今後の理解醸成に向けたコミュニケーション
3. 信頼をいただくための取組

2022年3月29日
東京電力ホールディングス株式会社

1. 宮城県産品の魅力発信、消費拡大を通じた需要創出の取組 **TEPCO**

- 宮城県産農林水産物の需要創出に向けて、当社ネットワークを活用し、宮城県の魅力を伝える取組や、社員食堂での県産品の利用促進、会社・組織や社員等による県産品の購入促進等の取組を、当社グループを挙げて進めてまいります

水産物をはじめとする宮城県産品の購入促進（会社・組織による取組）

- **当社社員食堂における宮城県産品の利用促進**
 - － 2022年4月より、当社社員食堂において、宮城県産水産物を使用したメニュー提供を開始いたします
 - － 第1弾として、本社食堂において、宮城県産のホヤとワカメを使用したメニューの提供を予定しております
 - － 本取組の状況を踏まえ、今後、県産食材を使用したメニューを定期的（月1回程度）に提供すべく、取扱メニューや提供箇所等を検討してまいります



本社社員食堂



本社社員食堂



周知用ポスター
(イメージ)

1. 宮城県産品の魅力発信、消費拡大を通じた需要創出の取組 **TEPCO**

水産物をはじめとする宮城県産品の購入促進（会社・組織での取組）

● 当社グループ会社における記念品・贈答品等の購入促進

- 当社グループ会社に対して、宮城県の魅力を伝える取組に着手いたしました
- 今後、グループ会社における記念品・贈答品等の購入において、宮城県産品を積極的に利用するよう、働きかけてまいります

● 全国の魚食振興の取組を通じた宮城県産品の利用推進

- 全国の魚食消費量拡大を目的とした、朝食向けおさかな総菜お届けサービス「Bon Quish(ボンキッシュ)※」での宮城県産水産物の利用を進めてまいります

※ 日本各地の水産物を使用したおさかな総菜を、定期購入方式で毎月8品宅配にてお届けするサービス。2021年12月より販売開始し、これまでに以下のメニューで宮城県産水産物を使用しております

今後も宮城県産水産物を使用した商品開発を進めてまいります

- ・ 金華サバの煮つけ（2021年12月～2月お試しセット商品にて販売済）
- ・ 金華サバの朝カレー（2月定期セット商品にて販売済）
- ・ 宮城県産ヤリイカの若竹煮（3月定期セット商品にて販売中）



金華サバの煮つけ

◎ご購入者様からのコメント
「脂の乗ったサバのぷりぷり風味感がたまらんです」
「金華サバって初めて食べたけど、脂が乗ってて、
とっても美味しかったです」

- 電気事業連合会の協力のもと、全国の水産加工品等のカタログ販売や、首都圏・大消費地等での魚食文化普及を目的としたイベント開催等、具体的な施策を検討し、全国大の水産加工品等の消費・売上向上といった魚食振興策を積極的に進めてまいります

1. 宮城県産品の魅力発信、消費拡大を通じた需要創出の取組 **TEPCO**

水産物をはじめとする宮城県産品の購入促進（社員等個人による取組）

● 関係団体さまと連携し、当社ネットワークを活用した社員向けバザール等の実施

- 関係団体さまのご協力のもと、当社ネットワークを活用し、首都圏各地の当社事業所やグループ会社における宮城県産品等の社員向けバザールや、オンラインショップでの購入斡旋等、社員やOBによる県産品購入を促進してまいります

● 宮城県の魅力情報の発信による消費拡大・観光PR

- 社内情報ツールを活用し、全社員に対して宮城県の魅力を伝える取組に着手いたしました
- 第1弾として、2022年2月に都内アンテナショップ「宮城ふるさとプラザ」さまを周知。3月には、第2弾として宮城県の観光サイト「宮城まるごと探訪」を周知いたしました
- 今後も、当社ネットワークを活用し、社員やOBに対して宮城県の魅力情報を継続的に発信することで、県産品の消費拡大や観光需要創出につなげてまいります
（宮城県産品を取扱うオンラインショップや、各種イベント開催情報の周知等）



全社員へのお知らせ(2022年2月16日掲載)
【仙台事務所】宮城県の魅力について
～第1弾 都内アンテナショップのご紹介～



全社員へのお知らせ(2022年3月18日掲載)
【仙台事務所】宮城県の魅力について
～第2弾 宮城県観光サイトのご紹介～

1. 宮城県産品の魅力発信、消費拡大を通じた需要創出の取組
2. 今後の理解醸成に向けたコミュニケーション
3. 信頼をいただくための取組

2. 今後の理解醸成に向けたコミュニケーション

- 当社は、ALPS処理水の取扱いに際し、安全を確保するための設備設計や運用・管理等の対応、モニタリングデータ等について、関係する皆さまのご懸念や関心事項にしっかりと向き合いながら、説明を尽くす取組を進めてまいります
- また、広く国内外の皆さまに、ALPS処理水の取扱いに関する理解をより深めていただけるよう、様々なチャネル・媒体を通じて、正確な情報を分かりやすい形で発信していく取組を継続してまいります

宮城県における活動の強化

● 仙台事務所の対応体制の強化

宮城県連携会議の方々をはじめとする関係団体の皆さまへの説明を尽くすため、仙台事務所の対応体制を強化いたします

- － 2021年9月 理解醸成、風評対策、賠償対応を一元的に担務する専属組織を組成
- － 2022年4月 廃炉に関するご懸念や疑問を伺い、速やかにお応えするため、技術系社員を新たに配置し、対応体制を強化

● 県内関係者とのコミュニケーションの強化

宮城県内の関係者の皆さまに、福島第一原子力発電所の廃炉の取組や現状をお伝えする取組を積極的に実施してまいります

- － 今後、県内の関係者の皆さまへ福島第一原子力発電所のご視察やオンライン形式のご視察を勧奨
- － 県内メディアの皆さまに、ALPS処理水の取組に関するご視察・ご取材を勧奨
- － 関係者の皆さまのご懸念や関心事項を踏まえて、安全対策や風評対策等の説明を尽くす取組を展開

2. 今後の理解醸成に向けたコミュニケーション

首都圏をはじめ、国内外の皆さまにご理解を深めていただくための取組

● 国内外メディア等への情報発信

- 科学的根拠に基づく正しい知識を発信いただけるよう、報道発表、記者会見、発電所の現場公開、説明会等を実施しております
- 海外主要メディアや外交団に、ブリーフィングやプレスツアーを実施。近隣国への情報発信も強化しており、大使館への情報提供も継続いたします



記者会見の様子

● さまざまな機会を捉えた関係者とのコミュニケーション

- 首都圏をはじめ、地域の皆さまや関係する皆さまへ、ALPS処理水の取扱いに関する考えや安全対策、風評対策等をご説明し、ご意見をお伺いする取組を、全社を挙げて進めております（2021年度 約3,000回）



オンラインブリーフィングの様子

● 首都圏の流通関係者や小売・飲食店関係者の理解醸成

- 当社が接点を有する水産会社、百貨店・スーパー、飲食店等のご懸念の払拭に向け、ALPS処理水の安全性やトリチウムの性質等についてご説明する取組を進めております
- 今後も、流通関係者や小売・飲食店関係者のご懸念・関心事項を踏まえたタイムリーな情報提供を継続的に実施してまいります



座談会の様子

● ご視察いただく機会の拡大

- 地域の皆さまのご視察・座談会を継続実施いたします（2022年度：計17回計画）
- 「オンライン型視察」を積極実施しております（国内外で実績あり）

● 理解醸成ツールの整備・拡充（海外向けを含む）

- ホームページ内「処理水ポータルサイト」（日・英・中・韓）の内容をさらに充実いたします。2022年1月に全面改訂し、見やすさ等を改善いたしました
- ※「トリチウム」「放射線影響評価結果」解説冊子も公開中（日・英・中・韓）



処理水ポータルサイト

2. 今後の理解醸成に向けたコミュニケーション

客観性・透明性を確保するための取組

● 国際原子力機関（IAEA）の安全性評価

- 2022年2月、原子力分野の専門機関であるIAEA及び国際専門家（米、英、仏、露、中、韓ほか）が来日し、「ALPS処理水の性状や安全性」、「人と環境の保護に関する影響評価」等について、国際的なIAEAの安全基準に基づく、技術的な確認が行われました
- IAEAからの指導や助言を適切に取組に反映し、さらなる安全性・信頼性の向上に努めてまいります



IAEA現地調査の様子

● 海水での海洋生物の飼育試験を開始。飼育状況は広く公開

- 2022年3月17日、飼育ノウハウ習得のため、発電所周辺の通常の海水を利用した飼育試験を開始いたしました。飼育状況はホームページやSNSで、日誌形式でタイムリーに公開してまいります

■ ホームページ：

<http://www.tepco.co.jp/decommission/information/newsrelease/breedingtest/index-j.html>

■ Twitterアカウント：

<https://twitter.com/TEPCOfishkeeper>

- ALPS処理水を海水で希釈した水での飼育試験は、2022年9月頃の開始を予定しており、試験開始にむけて、準備を進めてまいります

※ 飼育状況のWeb公開、分析結果の定期公表は2022年9月から開始予定



海洋生物飼育日誌

3. 信頼をいただくための取組

関係者の皆さまから信頼をいただくための取組

● 宮城県のイベントへの参加

- 仙台事務所を中心に、関係団体さまの現地イベントへの参加・購入、お手伝いや、関係者の皆さまのご懸念・関心事項にしっかりと向き合う等、お互いの顔の見える取組を通じて、関係者の皆さまとの繋がりを深めてまいります

損害賠償に関する取組

● 丁寧で柔軟な対応の実現

- 昨年9月に発足した仙台事務所にて関係団体さまをご訪問し、これまでの賠償に関するご意見をいただく中で、私どもの至らなかった部分に思い至りました
 - ・ 賠償初期における賠償請求内容に対する説明不足や、柔軟な対応の欠如
 - ・ 賠償請求に関する関係団体さまへの事務処理のご負担 など
- 今後は、仙台事務所にて、関係団体の皆さまから信頼をいただけるよう、皆さまの下をご訪問して対話を重ね、その上で、今までの賠償における課題を踏まえ、新たな風評被害が発生した場合の賠償の枠組みを、関係団体の皆さまから丁寧にご事情を伺いながら、具体化してまいります